

子ども・子育て支援に関するニーズ調査の結果概要について

1 ニーズ調査の目的

本調査は、(仮称)第3次秋田市子ども・子育て未来プラン(第2期秋田市子ども・子育て支援事業計画)の策定にあたり、子育て家庭の現状と教育・保育、地域の子育て支援に対するニーズ量(現在の利用状況と今後の利用希望)等を把握することを目的として実施した。

2 調査時期

平成31年2月～3月

3 調査の概要

(1) 回収状況

	対象件数	回収件数	回収率	調査項目数
就学前児童の保護者	2,220件	1,189件	53.6%	91項目
小学校児童の保護者	1,780件	866件	48.7%	50項目
合計	4,000件	2,055件	51.4%	—

(2) 調査結果について

【資料4-1】主な項目の調査結果

【資料4-2】単純集計表(就学前児童の保護者)

【資料4-3】単純集計表(小学校児童の保護者)

4 調査結果の反映について

(1) 「量の見込み」の算出

今回の調査による利用希望を基に、保育所や幼稚園等の「教育・保育の量の見込み」および病児保育や放課後児童健全育成事業等の「地域子ども・子育て支援事業の量の見込み」を算出し、次期プランの計画期間における「量の見込み」に対応する提供体制の確保内容の検討を進めていく。

(2) 現行プランの最終評価

現行プランについて、今回の調査結果も踏まえて最終評価を行い、現状の課題等を整理し、次期プランにおける施策等の検討を進めていく。

主な項目の調査結果

(1) 理想とする子どもの数と実際に予定する子どもの数について
(就学前児童・小学校児童の保護者)

(問) あなた方（ご夫婦）の理想として全部で何人の子どもの欲しいと思いますか（思いましたか）。

【理想とする子どもの数】

区分	就学前	小学校	合計	割合
1人	33	34	67	3.5%
2人	638	466	1,104	57.5%
3人	433	269	702	36.6%
4人	24	17	41	2.1%
5人以上	3	2	5	0.3%
合計	1,131	788	1,919	100.0%

理想の子どもの数は、「2人」が 57.5%と最も割合が高く、続いて「3人」が 36.6%、「1人」が 3.5%となっている。理想の子どもの数を2人以上とする回答の合計は 96.5%となっている。

(問) 実際にもつつもりの子どもは全部で何人ですか。

【実際に予定する子どもの数】

区分	就学前	小学校	合計	割合
1人	142	127	269	14.0%
2人	681	447	1,128	58.9%
3人	271	187	458	23.9%
4人	34	19	53	2.8%
5人以上	2	5	7	0.4%
合計	1,130	785	1,915	100.0%

実際に予定する子どもの数は、「2人」が 58.9%と最も割合が高く、続いて「3人」が 23.9%、「1人」が 14.0%となっている。実際に予定する子どもの数を2人以上とする回答の合計は 86.0%となっている。

(2)実際に予定する子どもの数が理想とする子どもの数より少ない理由
(就学前児童・小学校児童の保護者)

(問) 実際にもつつもりの子どもの人数が、理想とする子どもの人数より少ないのはどうしてですか。(複数回答)

	区分	就学前	小学校	合計	割合
1	仕事や趣味を優先したい	16	5	21	3.8%
2	仕事と子育ての両立が難しい	118	71	189	34.5%
3	職場の理解が得られない	20	15	35	6.4%
4	結婚するのが遅かった	66	38	104	19.0%
5	配偶者が子どもを欲しがらない	20	16	36	6.6%
6	妊娠・出産が精神的・肉体的に大変	78	43	121	22.1%
7	年齢的に妊娠・出産が難しい	108	93	201	36.7%
8	健康上の理由で妊娠・出産が難しい	27	29	56	10.2%
9	不妊治療にお金がかかる	28	16	44	8.0%
10	出産費用等の経済的負担が大きい	52	28	80	14.6%
11	子どもの医療費等の経済的負担が大きい	52	47	99	18.1%
12	育児休業制度等の保障が不十分	41	24	65	11.9%
13	子どもに対する手当等による経済的援助が不十分	97	51	148	27.0%
14	子どもの預け先がない	31	30	61	11.1%
15	保育所や幼稚園等にかかる経済的な負担が大きい	121	80	201	36.7%
16	義務教育にかかる経済的な負担が大きい	76	54	130	23.7%
17	高等学校教育にかかる経済的な負担が大きい	123	83	206	37.6%
18	大学教育にかかる経済的な負担が大きい	169	99	268	48.9%
19	育児が精神的・肉体的に大変	96	42	138	25.2%
20	子育てに対する配偶者の協力が少なく、負担が大きい	47	34	81	14.8%
21	育児の社会的支援体制が不十分	70	35	105	19.2%
22	居住する住宅が狭い	35	23	58	10.6%
23	その他	31	17	48	8.8%
	合計(回答母数)	319	229	548	

教育等にかかる経済的な負担に対する回答が多く、「大学教育」が 48.9%、「高等学校教育」が 37.6%、次いで「保育所や幼稚園等」および「年齢的に妊娠・出産が難しい」が 36.7%、「仕事と子育ての両立が難しい」が 34.5%となっている。

(3) 母親の現在の就労状況（就学前児童の保護者）

(問) 宛名のお子さんの母親の方の現在の就労状況について、お伺いします。

	選択肢	H31		H25	
		回答数	割合	回答数	割合
1	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	471	40.3%	370	36.3%
2	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	131	11.2%	44	4.3%
3	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	245	21.0%	210	20.6%
4	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	25	2.1%	11	1.1%
5	以前は就労していたが、現在は就労していない	280	23.9%	351	34.5%
6	これまで就労したことがない	17	1.5%	33	3.2%
	合計	1,169	100.0%	1,019	100.0%

※父親の就労状況については、「フルタイムで就労中」が98.2%

就学前児童の母親の現在の就労状況は、「フルタイムで就労中」が40.3%、「パート・アルバイト等で就労中」が21.0%で、育児等の休業中を含めた就業者（回答1~4の合計）の割合は、74.6%となっており、25年調査時から12.3ポイント増加している。

(4) 母親の現在の就労状況（小学校児童の保護者）

(問) 宛名のお子さんの母親の方の現在の就労状況について、お伺いします。

	選択肢	H31		H25	
		回答数	割合	回答数	割合
1	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	352	42.1%	336	35.2%
2	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	12	1.4%	9	0.9%
3	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	309	36.9%	367	38.5%
4	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	0.3%	2	0.2%
5	以前は就労していたが、現在は就労していない	145	17.3%	207	21.7%
6	これまで就労したことがない	17	2.0%	33	3.5%
	合計	837	100.0%	954	100.0%

※父親の就労状況については、「フルタイムで就労中」が98.1%

小学校児童の母親の現在の就労状況は、「フルタイムで就労中」が42.1%、「パート・アルバイト等で就労中」が36.9%で、育児等の休業中を含めた就業者（回答1~4の合計）の割合は、80.7%となっており、25年調査時から5.9ポイント増加している。

(5) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況（就学前児童の保護者）

(問) 宛名のお子さんは、現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。

	選択肢	H31		H25	
		回答数	割合	回答数	割合
1	利用している	915	77.0%	774	74.9%
2	利用していない	274	23.0%	259	25.1%
	合計	1,189	100.0%	1,033	100.0%

定期的な教育・保育事業については、「利用している」が77.0%で、25年調査時から2.1ポイント増加している。

(問) 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業をお答えください。（複数回答）

	選択肢	H31		H25	
		回答数	割合	回答数	割合
1	幼稚園	140	15.3%	304	39.3%
2	幼稚園の預かり保育	37	4.0%	89	11.5%
3	認可保育所	399	43.7%	362	46.8%
4	認定こども園	310	33.9%	36	4.7%
5	認定こども園(1号)の預かり保育	60	6.6%		
6	小規模保育事業	21	2.3%		
7	事業所内保育事業	6	0.7%	9	1.2%
8	企業主導型保育事業	8	0.9%		
9	認可外保育施設・幼稚園	14	1.5%	23	3.0%
10	ベビーシッター	-			
11	ファミリー・サポート・センター	5	0.5%	2	0.3%
12	その他	4	0.4%	8	1.0%
	合計(回答母数)	914		774	

定期的利用している教育・保育事業については、「認可保育所」が43.7%で最も多く、次いで「認定こども園」が33.9%、「幼稚園」が15.3%となっている。

25年調査時からの比較では、「認定こども園」が29.2ポイント増加し、一方「幼稚園」は24.0ポイント減少、「認可保育所」は3.1ポイント減少となっている。

(6) 平日の定期的な教育・保育事業の利用希望（就学前児童の保護者）

(問) 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したい事業をお答えください。（複数回答）

	選択肢	H31		H25	
		回答数	割合	回答数	割合
1	幼稚園	424	36.6%	574	55.6%
2	幼稚園の預かり保育	238	20.6%	334	32.3%
3	認可保育所	540	46.6%	457	44.2%
4	認定こども園	603	52.1%	168	16.3%
5	認定こども園(1号)の預かり保育	188	16.2%		
6	小規模保育事業	45	3.9%		
7	事業所内保育事業	43	3.7%	79	7.6%
8	企業主導型保育事業	44	3.8%		
9	認可外保育施設・幼兒園	13	1.1%	31	3.0%
10	ベビーシッター	52	4.5%		
11	ファミリー・サポート・センター	97	8.4%	113	10.9%
12	その他	8	0.7%	10	1.0%
	合計(回答母数)	1,158		1,033	

定期的な教育・保育事業の利用希望については、「認定こども園」が 52.1%で最も多く、次いで「認可保育所」が 46.6%、「幼稚園」が 36.6%となっている。

25年調査時からの比較では、「認定こども園」が 35.8ポイント増加、「認可保育所」が 2.4ポイント増加し、一方「幼稚園」は 19.0ポイント減少となっている。

(7) 地域子育て支援拠点事業の利用の有無（就学前児童の保護者）

(問) 宛名のお子さんは、現在、「子ども未来センター」や「各市民サービスセンターの子育て交流ひろば」や「子ども広場（フォンテ秋田6階）」を利用していますか。

	選択肢	H31		H25	
		回答数	割合	回答数	割合
1	利用している	409	34.6%	297	30.2%
2	利用していない	773	65.4%	687	69.8%
	合計	1,182	100.0%	984	100.0%

地域子育て支援拠点事業について、「利用している」が 34.6%であり、25年調査時からは 4.4ポイント増加している。

(8) 病児保育の利用希望（就学前児童の保護者）

(問) この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

	選択肢	H31		H25	
		回答数	割合	回答数	割合
1	あった	717	79.9%	576	76.5%
2	なかった	180	20.1%	177	23.5%
	合計	897	100.0%	753	100.0%

教育・保育事業について、お子さんの病気やケガで通常の利用ができなかったことがあったかどうかについては、「あった」が79.9%で、25年調査から3.4ポイント増加している。

(問) 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間で行った対処方法は何ですか。（複数回答）

	選択肢	H31		H25	
		回答数	割合	回答数	割合
ア	母親が休んだ	579	85.3%	405	70.3%
イ	父親が休んだ	270	39.8%	143	24.8%
ウ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	304	44.8%	237	41.1%
エ	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	98	14.4%	110	19.1%
オ	病児・病後児の保育を利用した (保育所(園)で実施しているサービスを含む)	26	3.8%	10	1.7%
カ	ベビーシッターを利用した	-		-	
キ	ファミリー・サポート・センターを利用した	3	0.4%	4	0.7%
ク	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	2	0.3%	5	0.9%
ケ	その他	12	1.8%	5	0.9%
	合計(回答母数)	679		576	

対処方法については、「母親が休んだ」が85.3%で最も多く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」が44.8%、「父親が休んだ」が39.8%となっている。

25年調査時との比較では、「母親が休んだ」「父親が休んだ」が15.0ポイント増加、「親族・知人に子どもをみてもらった」が3.7ポイント増加となっている。

(問) (子どもがけがや病気で教育・保育事業が使えず、母親又は父親が仕事を休んで対応した方にうかがいます) その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

	選択肢	H31		H25	
		回答数	割合	回答数	割合
1	利用したい	201	34.2%	144	36.9%
2	利用したいとは思わない	386	65.8%	246	63.1%
	合計	587	100.0%	390	100.0%

病児・病後児のための保育施設等の利用意向については、「利用したいとは思わない」が65.8%となっており、25年調査時から2.7ポイント増加している。

(9) 放課後の過ごし方（就学前児童（5歳以上）の保護者）

(問) 放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。
（複数回答）

【低学年時】

	選択肢	H31		H25	
		回答数	割合	回答数	割合
1	自宅	137	49.6%	95	53.4%
2	祖父母宅や友人・知人宅	53	19.2%	38	21.3%
3	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	108	39.1%	73	41.0%
4	放課後子ども教室（児童館、児童センター、児童室）	105	38.0%	69	38.8%
5	放課後児童クラブ〔学童保育〕	103	37.3%	70	39.3%
6	ファミリー・サポート・センター	2	0.7%	-	
7	その他（公民館、公園など）	12	4.3%	18	10.1%
	合計（回答母数）	276		178	

子どもが小学校低学年のうちに、放課後の時間を過ごさせたい場所については、「自宅」が49.6%で最も多く、次いで「習い事」39.1%、「放課後子ども教室（児童館、児童センター、児童室）」38.0%、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」37.3%となっている。

【高学年時】

	選択肢	H31		H25	
		回答数	割合	回答数	割合
1	自宅	190	55.6%	122	68.5%
2	祖父母宅や友人・知人宅	51	14.9%	40	22.5%
3	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	169	49.4%	104	58.4%
4	放課後子ども教室 ※（児童館、児童センター、児童室）	83	24.3%	65	36.5%
5	放課後児童クラブ〔学童保育〕	56	16.4%	42	23.6%
6	ファミリー・サポート・センター	2	0.6%	-	
7	その他（図書館、公園など）	22	6.4%	22	12.4%
	合計（回答母数）	342		178	

子どもが小学校高学年になったら、放課後の時間を過ごさせたい場所については、低学年時同様、「自宅」が55.6%で最も多く、次いで「習い事」49.4%、「放課後子ども教室（児童館、児童センター、児童室）」24.3%、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」16.4%となっている。

(10) 放課後の過ごし方（小学校児童の保護者）

(問) 放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。
（複数回答）

【低学年時】（回答対象：現在低学年の小学校児童）

	選択肢	H31		H25	
		回答数	割合	回答数	割合
1	自宅	300	67.6%	326	69.8%
2	祖父母宅や友人・知人宅	62	14.0%	88	18.8%
3	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	208	46.8%	260	55.7%
4	放課後子ども教室（児童館、児童センター、児童室）	142	32.0%	193	41.3%
5	放課後児童クラブ〔学童保育〕	98	22.1%	70	15.0%
6	ファミリー・サポート・センター	1	0.2%	4	0.9%
7	その他（図書館、公園など）	47	10.6%	71	15.2%
	合計（回答母数）	444		467	

子どもが小学校低学年のうちに、放課後の時間を過ごさせたい場所については、「自宅」が 67.6%で最も多く、次いで「習い事」46.8%、「放課後子ども教室（児童館、児童センター、児童室）」32.0%、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」22.1%となっている。

【高学年時】（回答対象：現在高学年を含む小学校児童）※25年調査時は低学年のみ対象

	選択肢	H31		H25	
		回答数	割合	回答数	割合
1	自宅	627	78.4%	326	69.8%
2	祖父母宅や友人・知人宅	131	16.4%	78	16.7%
3	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	487	60.9%	299	64.0%
4	放課後子ども教室 ※（児童館、児童センター、児童室）	174	21.8%	147	31.5%
5	放課後児童クラブ〔学童保育〕	80	10.0%	40	8.6%
6	ファミリー・サポート・センター	3	0.4%	2	0.4%
7	その他（図書館、公園など）	88	11.0%	61	13.1%
	合計（回答母数）	800		467	

子どもが小学校高学年になったら、放課後の時間を過ごさせたい場所については、低学年時同様、「自宅」が 78.4%で最も多く、次いで「習い事」60.9%、「放課後子ども教室（児童館、児童センター、児童室）」21.8%、「祖父母宅や友人・知人宅」16.4%となっている。

(11) 育児休業の取得状況（就学前児童の保護者）

(問) 宛名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。

【母親の育児休業】

	選択肢	H31		H25	
		回答数	割合	回答数	割合
1	働いていなかった	431	36.6%	487	47.7%
2	取得した(取得中である)	577	49.0%	357	35.0%
3	取得していない	170	14.4%	176	17.3%
	合計	1,178	100.0%	1,020	100.0%

母親の育児休業について、「取得した(取得中)」が49.0%で最も多く、次いで「働いていなかった」が36.6%、「取得していない」が14.4%となっている。

25年調査時からの比較では、「取得した(取得中)」が14.0ポイント増加し、一方「働いていなかった」が11.1ポイント減少、「取得していない」が2.9ポイント減少となっている。

【父親の育児休業】

	選択肢	H31		H25	
		回答数	割合	回答数	割合
1	働いていなかった	12	1.1%	14	1.5%
2	取得した(取得中である)	44	4.1%	16	1.8%
3	取得していない	1,024	94.8%	889	96.7%
	合計	1,080	100.0%	919	100.0%

父親の育児休業について、「取得していない」が94.8%で最も多く、次いで「取得した(取得中)」が4.1%、「働いていなかった」が1.1%となっている。

25年調査時からの比較では、「取得した(取得中)」が2.3ポイント増加し、一方「取得していない」が1.9ポイント減少、「働いていなかった」が0.4ポイント減少となっている。

(12) ワーク・ライフ・バランスの認知度（就学前・小学校児童の保護者）

(問) 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉をご存じですか。

	選択肢	H31				H25			
		就学前	小学校	回答計	割合	就学前	小学校	回答計	割合
1	名前も内容も知っている	444	285	729	35.9%	188	135	323	16.5%
2	名前を聞いたことはあるが、内容までは知らない	341	224	565	27.8%	199	176	375	19.1%
3	名前も内容も知らない	397	342	739	36.4%	630	631	1,261	64.4%
	合計	1,182	851	2,033	100.0%	1,017	942	1,959	100.0%

ワーク・ライフ・バランスという言葉の認知度については、「名前も内容も知らない」が36.4%で最も多く、次いで「名前も内容も知っている」が35.9%、「名前を聞いたことはあるが、内容までは知らない」が27.8%となっている。

25年調査時との比較では、「名前も内容も知っている」が19.4ポイント増加、「名前を聞いたことはあるが、内容までは知らない」が8.7ポイント増加し、一方「名前も内容も知らない」は28.0ポイント減少となっている。

(問) 日頃、「ワーク・ライフ・バランス」の実現に向け、努力されていますか。(回答対象：上記で、「名前も内容も知っている」と回答した方)

	選択肢	H31				H25			
		就学前	小学校	回答計	割合	就学前	小学校	回答計	割合
1	かなり努力している	67	31	67	15.2%	26	20	46	14.4%
2	まあまあ努力している	200	138	200	45.4%	83	59	142	44.4%
3	どちらともいえない	125	93	125	28.3%	57	37	94	29.4%
4	あまり努力していない	28	15	28	6.3%	8	9	17	5.3%
5	ほとんど努力していない	21	7	21	4.8%	12	9	21	6.5%
	合計	441	284	441	100.0%	186	134	320	100.0%

ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた努力については、「かなり努力している・まあまあ努力している」が60.6%で、「どちらともいえない」が28.3%、「あまり努力していない・ほとんど努力していない」が11.1%となっている。

25年調査時との比較では、「かなり努力している・まあまあ努力している」が1.8ポイント増加し、一方「どちらともいえない」が1.1ポイント減少、「あまり努力していない・ほとんど努力していない」が0.7ポイント減少となっている。

(13) 子育てに関する不安や負担感について（就学前・小学校児童の保護者）

(問) 子育てに関しての不安感や負担感などについてどのように感じていますか。

	選択肢	H31				H25			
		就学前	小学校	回答計	割合	就学前	小学校	回答計	割合
1	非常に感じる	165	147	312	15.4%	155	126	281	14.2%
2	ときどき感じる	797	493	1,290	63.8%	654	563	1,217	61.6%
3	あまり感じない	181	183	364	18.0%	182	229	411	20.8%
4	全く感じない	28	23	51	2.5%	31	31	62	3.1%
5	その他	2	4	6	0.3%	1	3	4	0.1%
	合計	1,173	850	2,023	100.0%	1,023	952	1,975	100.0%

子育てに関する不安感や負担感については、「ときどき感じる」が63.8%で最も多く、「あまり感じない」が18.0%、「非常に感じる」が15.4%、「全く感じない」が2.5%となっている。
 25年調査時との比較では、「ときどき感じる」が2.2ポイント増加、「非常に感じる」が1.2ポイント増加し、一方「あまり感じない」が2.8ポイント減少、「全く感じない」が0.6ポイント減少となっている。

(問) 子育てに関して、日常悩んでいることや、特に不安に思っていることはどのようなことですか。（複数回答）

	選択肢	H31				H25			
		就学前	小学校	回答計	割合	就学前	小学校	回答計	割合
1	病気や発育・発達に関すること	443	206	649	32.6%	300	457	757	37.8%
2	食事や栄養に関すること	465	180	645	32.4%	387	484	871	43.4%
3	育児の方法がよくわからないこと	122		122	10.5%	102		102	9.9%
4	子どもとの接し方に自信が持てないこと	287	136	423	21.3%	232	296	528	26.3%
5	子どもと接する時間を十分にとれないこと	380	232	612	30.8%	321	276	597	29.8%
6	子どもが言うことを聞かないこと	308		308	26.5%	248		248	24.0%
7	話し相手や相談相手がいないこと	65	57	122	6.1%	64	45	109	5.4%
8	自由な時間が持てないこと	446	203	649	32.6%	360	187	547	27.3%
9	子どもの教育に関すること	421	413	834	42.0%	296	412	708	35.3%
10	子どもの友達つきあいに関すること	180	261	441	22.2%	185	266	451	22.5%
11	子どもが幼稚園や保育所等に行きたがらないこと	33		33	2.8%	185		185	17.9%
12	不登校等に関すること		37	37	4.5%		27	27	2.8%
12	家族の協力が少ないこと	103	68	171	8.6%	130	71	201	10.0%
13	幼稚園や保育所等に、希望した時期に入れないこと	58		58	5.0%	44		44	4.3%
14	子どもを叱りすぎている気がする	446	301	747	37.6%	433	305	738	36.8%
15	子育てに関して家族と意見が合わないこと	102	77	179	9.0%	86	65	151	7.5%
16	自分が子どもを虐待しているのではないかということ	32	24	56	2.8%	47	15	62	3.1%
17	家族が子どもを虐待しているのではないかということ	8	5	13	0.7%	6	3	9	0.4%
18	住居が狭いこと	166	86	252	12.7%	130	116	246	12.3%
19	子育てで出費がかさむこと	492	460	952	47.9%	364	344	708	35.3%
20	その他	74	41	115	5.8%	55	52	107	5.3%
	合計(回答母数)	1,161	827	1,988		1,033	972	2,005	

(14) 子育て環境や子育て支援について（就学前・小学校児童の保護者）

(問) 秋田市の子育ての環境や子育て支援への満足度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	選択肢	H31				H25			
		就学前	小学校	回答計	割合(%)	就学前	小学校	回答計	割合(%)
1	満足度が高い	57	27	84	4.2%	101	15	116	5.9%
2	満足度がやや高い	283	138	421	20.8%	310	123	433	21.9%
3	満足度がふつう	477	334	811	40.1%	428	394	822	41.6%
4	満足度がやや低い	257	223	480	23.7%	118	281	399	20.2%
5	満足度が低い	102	124	226	11.2%	62	143	205	10.4%
	合計	1,176	846	2,022	100.0%	1,019	956	1,975	100.0%

秋田市の子育て環境や子育て支援への満足度は、「ふつう」が40.1%で最も多く、「低い・やや低い」が34.9%、「高い・やや高い」が25.0%となっている。

25年調査時との比較では、「低い・やや低い」が4.3ポイント増加し、一方「高い・やや高い」が2.8ポイント減少、「ふつう」が1.5ポイント減少となっている。

また今後、どのような子育て支援策が必要と思うかに対する回答は以下のとおり（複数回答）

	選択肢	就学前	小学校	回答計	割合
1	子どもを遊ばせながら、子育てについて語り合える場を増やす	299	118	417	20.5%
2	子ども連れでも出かけやすい講習やイベントの場を増やす	513	260	773	38.0%
3	子育てに困った時に気軽に相談したり情報が得られる場を増やす	290	213	503	24.7%
4	保育所や幼稚園等にかかる費用負担を軽減する	789	409	1,198	58.9%
5	保育所や幼稚園等における教育・保育の質の向上を図る	352	194	546	26.8%
6	延長保育（預かり保育）の時間を長くする	244	204	448	22.0%
7	休日保育（日・祝日）の実施設を増やす	394	247	641	31.5%
8	一時預かり事業（保育所等での一時的な保育）の実施設数を増やす	280	163	443	21.8%
9	病児・病後児保育事業（病氣中または病氣の回復期の預かり保育）の実施設数を増やす	428	293	721	35.4%
10	放課後児童クラブを増やす	377	208	585	28.8%
11	専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスが増えるよう促す	200	130	330	16.2%
12	医療費助成（マル福）を拡大するなど医療費の負担を軽減する	686	583	1,269	62.4%
13	時間短縮勤務や在宅勤務など多様な働き方ができるよう企業に対して働き方の見直しを促す	522	342	864	42.5%
14	仕事と子育ての両立や子育てにやさしい活動に取り組む企業が増えるよう促す	657	374	1,031	50.7%
15	育児休業や家族看護等休暇の取得を促進する	417	252	669	32.9%
16	子育ての講座など子育てについて学べる機会を増やす	126	71	197	9.7%
17	妊娠期からの健康や食事について学べる機会を増やす	81	34	115	5.7%
18	保健師・助産師が自宅を訪問して、子育てのアドバイスをする	80	41	121	5.9%
19	自治体独自のスマートフォン向け子育てアプリを配信する	86	74	160	7.9%
20	子ども連れでバスなどの公共交通機関を利用する際の費用負担を軽減する	333	247	580	28.5%
21	行事に参加する際の託児所をつくる	261	114	375	18.4%
22	その他	148	55	203	10.0%
23	特になし	9	14	23	1.1%
	合計（回答母数）	1,184	850	2,034	

